

公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム第1回会議

2024.05.29

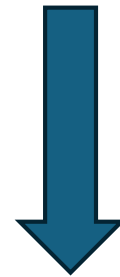
島根大学 飯野公央

1. 松江市地域公共交通計画2024＞2028における基本理念

松江市民みんなでつくる だれもが安心して、やさしく移動できるまち・松江
コンパクト・プラス・ネットワーク



- ・ 将来のまちのイメージ（人生100年時代の暮らし方）の具体化を通じて、交通（マイカーを含む）政策や公共交通の役割とそれを維持する責任の明確化が必要（特に行政が果たす役割・責任の明確化が必要）



公共交通だけの問題に
議論を矮小化しない

- ・ 住民、事業者（交通事業者に限らず、**土地利用関係者：不動産、住宅、金融等**）の役割、望ましい行動変容とそれを誘発・誘導するまちづくりとの関係を意識

（カールスルーエ・2017年飯野撮影）



2. 交通政策における統合

情報の統合：路線図、時刻表などの統合

運賃統合：チケットの統合（バスカード）、共通定期券、ICカード
（乗り換えによる初乗り運賃が不要に）

路線網の統合：異なる交通モード間の統合（施設の供用、ダイヤ設定）

より広い統合：マイカーとの統合（パーク＆ライド）
都市計画、環境・社会政策、医療・福祉政策などとの統合



これらの実現手段の一つとしての共同事業会社の設立